

# 新潟県女性センター情報 No.54

2006. 3. 22発行

## 専門講座

今年度の専門講座は「協働」を取り上げました。男女共同参画社会の実現には行政だけでなく、市民やNPO・NGOとのパートナーシップで進めることが望ましいといわれ、近年では「協働」という言葉が使われていますが、その本質を理解して使われ、民と官の対等な関係が作られているのか、というのが始まりでした。共著『女性センターを問う』で、「協働を問う」を担当された、群馬パース大学の内藤和美さんを講師にお迎えし、2月18・19日の2日間にわたって「官との協働☆民との協働～まちづくりスキルを学びませんか～」を開催しました。県内各地から民と官それぞれの立場の25人の参加がありました。

男女共同参画社会を確認するために、戦後日本社会の性別に関連した問題は二重の悪循環という構造的な背景があり、とかく個人の問題として捉えられがちな性別に関わる問題を社会的なこととして捉え、背景にある構造を問うていくことが必要であると話されました。「協働」については、従来ある関係性やシステムに乗っかっては官と民の対等な関係は築きにくく、新しいシステム作りが必要であること。また、協働という形態をとることで官と民がそれぞれ個別でやるよりも効果がある場合に行うということを確認し、協働の相手や方法・内容を合意し明文化していくことが必要であると説明されました。内藤さんのレポート・講義（入力系の学習）とワークシートの記入（出力系の学習）がセットになって進められました。ワークシートにはレポートで学んだことと今後活動や仕事にいかしたいことを記録しました。2日目の午後にはそれぞれが協働をどう理解し、今後地域で生かしていくのかをひとり一人が発表をし、締めくくりました。市民として行政と関わる時はすでに私個人を超えて、「われわれ」という視点でいるのかと、自分を振り返るとともに、「協働」は新しいシステムの構築を目指した大きな動きであることを認識した実り多い2日間でした。（新潟県女性財団企画運営委員 小熊洋子）

### 好評により追加実施が決定しました！ 官との協働☆民との協働 (basic)

【講師】 内藤和美（群馬パース大学教授）  
【日時】 5月21日（日）  
10:00～16:45  
【会場】 新潟ユニゾンプラザ 2F  
女性団体交流室2  
※詳細は、新潟県女性財団までお問い合わせください。

## 講座企画力養成事業

こまくさ保育園を会場に、園児や地域のお父さんに呼びかけ、「お父さんの我が家流子育て談話」を開催していただきました（主催：新潟県女性財団）。園内でもちょうどお父さん同士のつながりを持ちたいですね、という声があったときで、大変タイムリーな企画でした。園児のお父さん、子育て支援センターのお父さんなどから参加いただきました。

1回目は、遊び仕掛け人斎藤裕先生（県立新潟女子短大助教授）に子どもとの関係づくりのお話や遊びの紹介をしていただきました。斎藤先生はお子さんとの関わりの様子やご家族の様子をお話くださった後、子どもと一緒に楽しめる歌を交えた手遊びやプラトンプ、コマなどのおもちゃ作りを伝授くださり、参加者皆で楽しみました。

2回目は、植木信一先生（県立新潟女子短大助教授）から「子ども時代を豊かに過ごすために」のお話をいただき、参加者との話し合いをしました。参加されたお父さん方は、お互いの子育ての様子や我が子自慢、ご苦労なさっているところなどの話し合いもされていました。「なんとんでもお母さんが一番いいという子どもの前で、お父さんのカッコいいところを見せたい」とか、「小学生になって困っている子どもに父親としてどう関わればいいのか」など子どもと正面から向き合ったり、工夫して取り組んでおられる様子がよくわかりました。

2回とも会の終わりには懇親会も行われ、普段なかなか会えないお父さん同士のお話の輪が広がりました。家庭の様子やご夫婦の会話など楽しくまたリアルな話題が出されていました。また、その場で「今度雪が降ったらかまくらづくりをして子どもたちをびっくりさせよう」という話になり、日曜日の雪の日に集まり、お父さんたち10人がすっぽり入れる立派なかまくらが完成しました。月曜日に登園した子どもたちが園庭のかまくらを見て大喜びしたことはいうまでもありません。

子どもとの関係を大切にしていきたいと思っているお父さんたちが一番望んでおられるのは、お互いに話し合い、交流することのようでした。また、お父さん同士のつながりの中で、家族を巻き込んだ餅つきやキャンプを企画したいという希望もお持ちでした。そんなダイナミックな子育てのエネルギーを引き出せるような場作りがこれからもしていけるといいなと思いました。6月3日には「パパ's 絵本プロジェクト」が来てくださいます。今からとても楽しみです。

（こまくさ保育園 竹内貴美）

## 地域セミナー

平成 17 年度に市町村や住民グループと共催した地域セミナーの一覧です。詳しい内容等については、財団事務局までお問い合わせください。

市町村	回	開催日	テーマ等	講師等
村上市	1	8月26日	身近なことから男女共同参画	小野庸子(新潟県東村教育長)
糸魚川市	1	8月26日	しごと・子育て・介護の思いをかたちにしよう!	中戸正子(元上越市男女共同参画推進室長)
	2	9月12日	しごと・子育て・介護の思いをかたちにしよう!PART2	
南魚沼市	1	9月3日	女と男みんなでつくろう!ずーっと住みたい南魚沼市	波多野正彦(新潟県女性財団事務局長)他
	2	10月26日	そこが知りたい!子育て支援~あなたの声を行政に届けるチャンスです!~	南魚沼市子育て支援課職員他
柏崎市	1	10月15日	ばばだって、魚さばいて刺身づくり。刺身をつまみに子育て談議をしましょう!	木村剛(かもした〔有〕調理師)
	2	10月23日	身体を使って親子で楽しむ遊びいろいろ。子どもを遊ばせながら、お父さんは座談会~子どもと妻と家庭と地域と~	吉原久美子(糸魚川幼稚園副園長) 柏崎オヤジ倶楽部運営委員
上越市	①	10月16日	一人ひとりが豊かにいきるために~男女共同参画社会への道筋~	三井マリ子(女性政策研究家)
	②	11月5日	地域でいきいき参画社会~講談・山下さんちの物語より~	宝井琴桜(講談師)
	③	11月5日		
妙高市	1	10月30日	いっしょに体を動かそう~お父さんといっしょ~	吉原久美子(糸魚川幼稚園副園長)
	2	11月13日	ワークショップ~本音で話そう!子育て~	(特)マミーズ・ネット
	3	11月26日	講演会~子育てはひとりじゃない~	中條美奈子(マミーズ・ネット代表)
魚沼市	1	10月30日	はじめの一步~男女共同参画社会をめざして~	村松真貴子(フリーアナウンサー)
阿賀野市	1	12月3日	あなたはだれに介護されたいですか?~介護する私の気持ちを受け止めて!~	堀内一恵(あったか森の仲間たち主宰)
	2	12月10日	あなたはだれに介護されたいですか?~自分が介護をされる立場から考えてみよう!~	

※上越市の①は三和区、②は大島区、③は頸城区で開催。

グループ名	回	開催日	テーマ等	講師等
姥ヶ山自治会 女性部(新潟市)	1	8月21日	環境セミナー~今日からあなたも地球の守り人~	高橋敬雄(新潟大学教授) 姥ヶ山自治会女性部
刈羽村女性ネット ワーク会議	1	10月29日	気になる? 応援したい! 地域で出来る子育て支援	堀内一恵(あったか森の仲間たち主宰)
イクオリティ まき(新潟市)	1	11月10日	ゆるやかにエクササイズを楽しみ、からだと心も美しくなろう	伊藤千賀(トータルエクササイズスクール主宰)
	2	11月16日	「おしゃべりひろば」で日頃感じていることを聞いたり、おしゃべりしたりしましょう	大島照美子(新潟県女性財団理事長)
	3	11月19日	女性の自立は家族の自立	伊藤千賀(トータルエクササイズスクール主宰)
おぐに女・男ネット ワーク(旧小国町)	1	2月28日	男女共同参画社会の実現をめざして(寸劇)	おぐに女・男ネットワーク

## 共催募集

新潟県女性財団では、平成 18 年度も市町村と共催の地域セミナーのほかに、住民グループとの直接共催による地域セミナーを実施します。テーマはいろいろ、皆さんが地域に発信したいテーマなら、地域課題、経済や法律問題、子育て、福祉、教育など何でもOK! 男女共同参画社会の実現に反しないこと、営利を目的としたものでないことが条件です。財団スタッフが企画から運営までサポートします。また、講師の謝金と旅費、会場費、保育ルーム設営費用など、経費の負担も行います。共催を希望するグループは、財団事務局までお問い合わせ・お申し込みください。

編集・発行/ 財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail balansu@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~balansu>

iモード・J-sky対応ホームページは、上記アドレスの後に/iをつけてください。